Dell™ XPS™ 730/730X
クイックリファレンスガイド

モデル DCDO

www.dell.com | support.jp.dell.com

メモ、警告および危険

メモ：コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。

警告：警告は、手順に従わない場合は、ハードウェアが損傷やデータの損失の可能性があることを示しています。

危険： 危険は、危険物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

モデル DCDO

2008 年 10 月　P/N F059J　Rev. A00

目次

1

情報の検索方法

メモ：一部の機能やメディアはオプションであり、出荷時にコンピュータに付属していない場合があります。特定の国では使用できない機能やメディアもあります。

メモ：追加の情報がコンピュータに同梱されている場合があります。

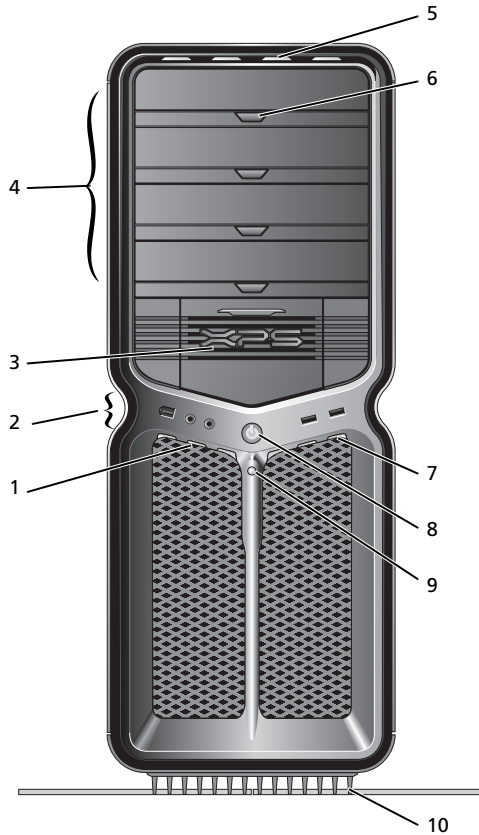
マニュアル / メディア / ラベル	内容
サービスタグ / エクスプレスサービスコード サービスタグ / エクスプレスサービスコードは、コンピュータに貼付されています。	• サービスタグは、support.jp.dell.com を使用の際、またはサポートへのお問い合わせの際に、コンピュータの識別に使用します。 • エクスプレスサービスコードを利用すると、サポートに直接電話で問い合わせることができます。
『Drivers and Utilities』メディア 『Drivers and Utilities』メディアとして CD または DVD が、お使いのコンピュータに同梱されている場合があります。	• コンピュータの Diagnostics（診断）プログラム • お使いのコンピュータ用のドライバ **メモ：**ドライバおよびマニュアルのアップデート版は、**support.jp.dell.com** で入手できます。 • DSS（デスクトップシステムソフトウェア） • Readme ファイル **メモ：**メディアに収録されている Readme ファイルは、マニュアルの作成後にシステムに追加された変更や、技術者や専門知識をお持ちのユーザーを対象とするテクニカルリファレンスなどが記載されています。
『Operating System』メディア 『Operating System』メディアは、CD または DVD としてお使いのコンピュータに同梱されています。	• オペレーティングシステムの再インストール
サービスマニュアル お使いのコンピュータの『サービスマニュアル』は、**support.jp.dell.com** でご覧いただけます。	• 部品の取り外しおよび取り付け方法 • システムの設定方法 • トラブルシューティングおよび問題解決の方法
Dell テクノロジガイド 『Dell テクノロジガイド』は、**support.jp.dell.com** でご覧いただけます。	• お使いのオペレーティングシステムについて • 周辺機器の使用とメンテナンス • RAID、インターネット、Bluetooth®、E- メール、ネットワークおよびその他のテクノロジについて

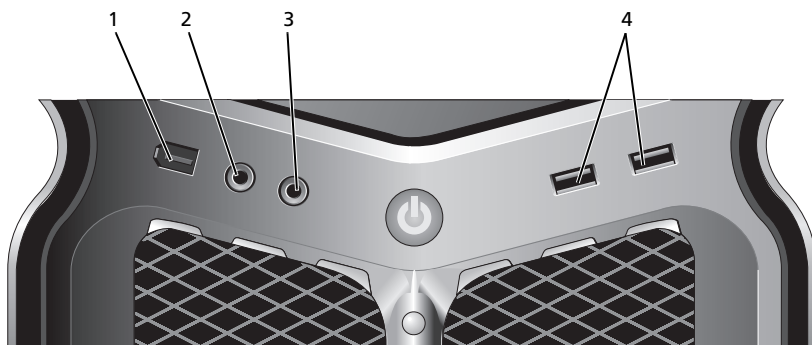
マニュアル / メディア / ラベル（続き）	内容
Microsoft® Windows® ライセンスラベル お使いの Microsoft Windows ライセンスは、コンピュータに貼付されています。	• OS のプロダクトキーが記載されています。
製品の安全および保証に関する情報は、ハードコピーとしてお使いのコンピュータに付属しています。 認可機関の更に詳しい情報は、**www.dell.com/regulatory_compliance** にある Regulatory Compliance（法規制の遵守）ホームページを参照してください。	• 保証に関する情報 • 契約条項（米国内 のみ） • 安全にお使いいただくために • 認可機関の情報 • 快適な使い方 • エンドユーザーライセンス契約

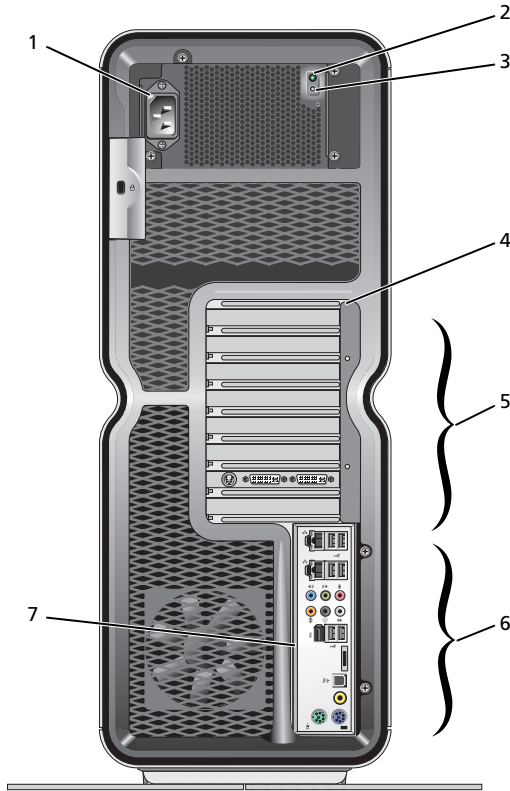
2

コンピュータのセットアップ

コンピュータの正面および背面

正面図

1	前面パネル LED（3）	多色ライトがコンピュータの前面で点灯します。
2	前面 I/O コネクタ	USB およびその他のデバイスのプラグを 対応するコネクタに差し込みます（11 ページの「前面 I/O コネクタ」を参照）。
3	3.5 インチドライブベイ（2）	メディアカードリーダーなどのオプションのデバイスを格納します。 **メモ：**サービスタグナンバーとエクスプレスサービスコードは、このベイドアの内側にあります。
4	5.25 インチドライブベイ（4）	5.25 インチドライブベイのキャリアには、オプティカルドライブまたは SATA ハードドライブを取り付けることができます。 **メモ：**ハードドライブキャリアは 5.25 インチドライブベイ専用です。フロッピードライブ / メディアカードリーダーは、ハードドライブキャリアと互換性がありません。
5	前面パネル LED（4）	多色ライトがコンピュータの前面で点灯します。
6	オプティカルドライブトレイ取り出しボタン（4）	オプティカルドライブのドライブトレイを取り出す場合に使用します。 **メモ：**オプティカルドライブトレイ取り出しボタンは、ハンドルではありません。取り出しボタンを押し、ドライブトレイが取り出されると、ドアが自動的に開きます。
7	前面パネル LED（3）	多色ライトがコンピュータの前面で点灯します。
8	電源ボタン	電源ボタンを押して、コンピュータに電源を入れます。 **警告：データの損失を防ぐため、電源ボタンを使ってコンピュータの電源を切らないでください。電源ボタンを押さずに、オペレーティングシステムのシャットダウンを実行してください。** **メモ：**電源ボタンを押して、システムを省電力状態からウェイクアップしたり、省電力状態にすることもできます。
9	ハードドライブ動作 LED	ハードドライブ LED は、コンピュータがハードドライブからデータを読み書きしている際に点灯します。この LED は、CD プレーヤーなどのデバイスが動作しているときにも点灯することがあります。
10	コンピュータスタンド	本体を安定させるために、コンピュータスタンドを取り付けます。 **危険：本体をできるだけ安定に設置するため、必ずコンピュータスタンドを取り付け、常に脚を開いた状態にしてください。スタンドを取り付けないと、コンピュータが転倒し、ケガやコンピュータの故障の原因となることがあります。**

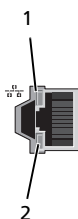
前面 I/O コネクタ

1	IEEE 1394 コネクタ	IEEE 1394 コネクタは、デジタルビデオカメラや外部ストレージデバイスなどの高速データデバイスに使用します。
2	マイクコネクタ	マイクコネクタにパーソナルコンピュータ用マイクを接続して、音声や音楽をサウンドまたはテレフォニープログラムに入力します。
3	ヘッドフォンコネクタ	ヘッドフォンコネクタを使用してヘッドフォンを接続します。 **メモ：**ヘッドフォンをこのコネクタに接続すると、背面のオーディオ出力ポートが無効になります。
4	USB 2.0 コネクタ（2）	前面の USB コネクタは、フラッシュメモリキー、カメラ、起動可能な USB デバイスなど、ときどき接続するデバイスに使用します。 プリンタやキーボードなど通常接続したままのデバイスには、背面 USB コネクタを使用することをお勧めします。

背面図

1	電源コネクタ	電源ケーブルを差し込みます。このコネクタの実際の外観は図とは異なる場合があります。
2	内蔵診断テスト（BIST）LED	電源装置の電源を使用できるかどうかを示します。 • 緑色のライト — 電源装置の電源を使用できることを示します。 • 消灯 — 電源装置の電源を使用できないか、電源装置が機能していないことを示します。
3	BIST スイッチ	電源装置のテストに使用します。
4	背面パネル LED	多色 LED がコンピュータの背面のカードスロットを照らします。
5	カードスロット	取り付けられたすべての PCI または PCI Express（PCIe）カード用のアクセスコネクタです。 **メモ：**一部のコネクタスロットは、フルレングスカードをサポートしています。

6	背面 I/O コネクタ	USB およびその他のデバイスのプラグを 対応するコネクタに差し込みます（13 ページの「背面 I/O コネクタ」を参照）。
7	背面 I/O LED ボード	多色 LED がコンピュータの背面の I/O パネルで点灯します。

背面 I/O コネクタ

	マウスコネクタ	標準型の PS/2 マウスをお使いの場合は、緑色のマウスコネクタに差し込みます。USB マウスをお使いの場合は、USB コネクタに差し込みます。
	キーボードコネクタ	標準型の PS/2 キーボードをお使いの場合は、紫色のキーボードコネクタに差し込みます。USB キーボードをお使いの場合は、USB コネクタに差し込みます。
	RCA S/PDIF コネクタ	RCA S/PDIF コネクタは、アナログオーディオ変換処理を行わずにデジタルオーディオを伝送する場合に使用します。
	オプティカル S/PDIF コネクタ	光学 S/PDIF コネクタは、アナログオーディオ変換処理を行わずにデジタルオーディオを伝送する場合に使用します。
	IEEE 1394 コネクタ	IEEE 1394 コネクタは、デジタルビデオカメラや外部ストレージデバイスなどの高速データデバイスに使用します。
	リアサラウンド出力	サラウンドサウンドコネクタ（黒色）には、マルチチャネル対応スピーカーを接続します。
	中央 /LFE サラウンド出力	サブウーハーコネクタ（橙色）には、シングルサブウーハーを接続します。 **メモ:**デジタルサラウンドサウンドオーディオ機構にある LFE(低周波エフェクト）オーディオチャネルは、80 Hz 以下の低周波情報のみを伝達します。LFE チャネルはサブウーハーを駆動し、極めて低い音域を拡張します。サブウーハーを使用しないシステムの場合は、サラウンドサウンドのセットアップで LFE の情報をメインスピーカーに切り替えることができます。

	ライン入力コネクタ	ライン入力コネクタ（青色）には、カセットプレーヤー、CD プレーヤー、VCR（ビデオカセットレコーダー）などの録音 / 再生デバイスを接続します。 サウンドカードが搭載されたコンピュータの場合、カードのコネクタを使用します。
	ライン出力 / ヘッドフォンコネクタ	ライン出力コネクタ（緑色）には、ヘッドフォンおよびアンプ内蔵型スピーカーを接続します。 サウンドカードが搭載されたコンピュータの場合、カードのコネクタを使用します。
	マイクコネクタ	マイクコネクタ（ピンク色）にパーソナルコンピュータ用マイクを接続し、音声や音楽をサウンドまたはテレフォニープログラムに入力します。
	サイドサラウンドサウンドコネクタ	サイドサラウンドコネクタ（銀色）には、追加のスピーカーを取り付けます。
	ネットワークアダプタコネクタ（2）	ネットワークアダプタコネクタは、ネットワークまたはブロードバンドデバイスにコンピュータを接続するために使用します。 ネットワークケーブルの一方の端をネットワークジャックやネットワークまたはブロードバンドデバイスに接続し、ネットワークケーブルのもう一方の端をコンピュータのネットワークアダプタコネクタに接続します。 カチッという感触があれば、ネットワークケーブルはしっかりと接続されています。 **メモ:**ネットワークにはカテゴリ 5 のケーブルとコネクタを使用することをお勧めします。カテゴリ 3 のケーブルを使用する必要がある場合、ネットワーク速度を 10 Mbps にして動作の信頼性を確保します。
	1 - ネットワーク動作 LED	黄色のライトは、コンピュータがネットワークデータを送信、または受信している時に点滅します。ネットワークトラフィックが多い場合、この LED が「点灯」の状態に見えることがあります。

2 - 通信状態 LED

- 緑色 — 10 Mbps ネットワークとコンピュータ間の接続が良好です。
- 橙色 — 100 Mbps ネットワークとコンピュータ間の接続が良好です。
- 黄色 — 1000 Mbps（1 Gbps）ネットワークとコンピュータ間の接続が良好です。
- オフ（消灯）— コンピュータがネットワークへの物理的な接続を検出していません。

USB 2.0 コネクタ（6）

プリンタやキーボードなど、通常接続したままのデバイスには背面 USB コネクタを使用します。

メモ：フラッシュメモリキー、カメラ、または起動可能な USB デバイスなど、時々接続するデバイスには、正面の USB コネクタを使用することをお勧めします。

eSATA コネクタ

追加ストレージデバイスの接続に使用します。

コンピュータのセットアップ

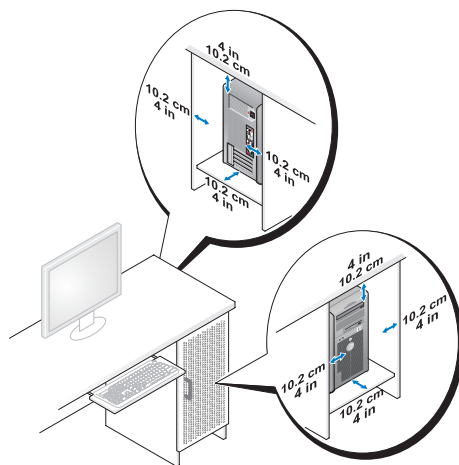
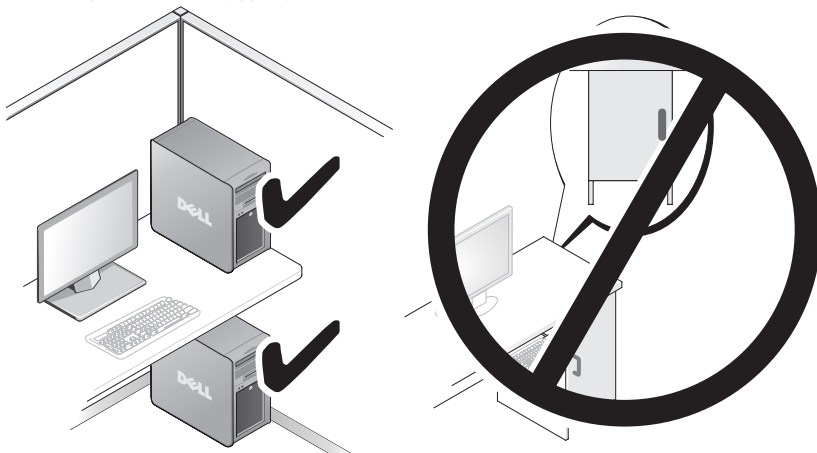
このコンピュータは、コンピュータスタンドが取り付けられている状態で出荷されています。

縦置きにした状態で、本体の後部を慎重に持ち上げ、スタビライザを完全に開きます。このスタビライザを使用することで、本体がより安定します。

お使いのコンピュータのエンクロージャへの設置

コンピュータをエンクロージャに設置すると、空気の流れが遮断され、コンピュータのパフォーマンスに悪影響を及ぼし、過熱の原因となります。コンピュータをエンクロージャに設置することはお勧めできません。どうしてもエンクロージャに設置する必要がある場合は、以下のガイドラインに従います。

警告：動作温度に関する各仕様には、最大環境動作温度が反映されています。コンピュータをエンクロージャに設置する際には、設置場所の室温に配慮する必要があります。たとえば、室温が 25 ℃の場合、お使いのコンピュータの仕様によっては、最大動作温度まで 5 ～ 10 ℃しか余裕がない場合があり得ます。お使いのコンピュータの仕様の詳細については、63 ページの「仕様」を参照してください。

- 通気が適切に行われるように、コンピュータの通気孔のある側面すべてに、少なくとも 10.2 cm のすき間をあけるようにします。
- エンクロージャにドアがある場合、エンクロージャを通して（前面と背面）少なくとも 30 ％の空気の流れを確保する必要があります。

- コンピュータを机の角や下に設置している場合は、通気に必要な空気の流れを確保するため、本体の背面から壁まで 5.1 cm のすき間をあけるようにします。

- 通気を妨げるエンクロージャにはコンピュータを設置しないでください。通気が妨げられると、コンピュータのパフォーマンスが影響を受けたり、場合によってはオーバーヒートの原因にもなります。

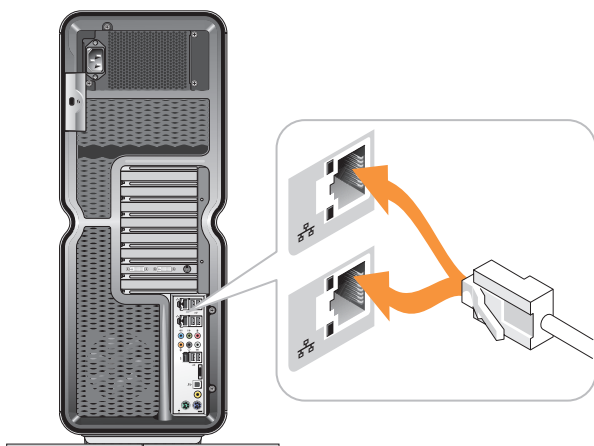
ネットワークへの接続

本体をネットワークに接続するには、次の手順に従います。

1 ネットワークケーブルの一端をネットワークデバイス（ルーター、ネットワークスイッチ、ケーブルモデム / DSL）に接続します。

2 ネットワークケーブルのもう一端を、コンピュータ背面にあるネットワークアダプタコネクタのいずれかに接続します。

   カチッと収まったらネットワークケーブルはしっかりと接続されています。

メモ：このコンピュータには、2 つの内蔵ネットワークアダプタ接続が構成されています。この接続は、高度な構成オプションをサポートしています。21 ページの「ネットワークの高度な機能」を参照してください。

拡張ネットワークアダプタ（PCI、PCIe）がある場合は、ネットワークケーブルをそのアダプタに接続します。

メモ：ネットワークにはカテゴリ 5 のケーブルとコネクタを使用することをお勧めします。カテゴリ 3 のケーブルを使用する必要がある場合、ネットワーク速度を 10 Mbps にして動作の信頼性を確保します。

3

システム設定

メモ：ここに記載されている機能の一部は、Dell™ XPS™ 730X コンピュータでは使用できない、または異なる場合があります。詳細に関しては、デルサポートサイト **support.jp.dell.com** を参照してください。

お使いのコンピュータは設定済みの状態で出荷されています。ここでは、システム設定をやりなおしたり変更する必要が場合に備えて、詳細な手順について説明します。

ネットワーク設定（XPS 730 のみ）

ネットワークの高度な機能

NVIDIA Control Panel には、ネットワークトラフィックの変更に使用する 2 つのツール、NVIDIA FirstPacket と、TCP/IP Acceleration が用意されています。

これらのツールには、Windows® のコントロールパネルの NVIDIA Control Panel からアクセスできます。

NVIDIA FirstPacket

NVIDIA FirstPacket を使用すると、システムのトラフィックを管理できます。これにより、ネットワークゲームや VoIP など、ネットワークの処理速度の遅延の影響を受けやすいアプリケーションのパフォーマンスを、効果的に管理および向上させることができます。

NVIDIA FirstPacket は、ネットワークドライバに送信キューを追加し、複数のネットワークアプリケーションが限られたリソースを共有できるようにします。ユーザーの指定に基づき、ユーザーに承認されたネットワークアプリケーションの送信を優先させます。

TCP/IP Acceleration

メモ：TCP/IP Acceleration を有効にすると、ネットワークのパフォーマンスは向上しますが、すべての処理負荷がハードウェアに集中するので、ネットワークトラフィックがファイアウォールをバイパスする可能性があります。

TCP/IP Acceleration テクノロジは、TCP/IP ネットワークトラフィックの処理を、コンピュータの CPU から nForce ハードウェアに移すことで、システムパフォーマンスを大幅に向上させるネットワークソリューションです。

グラフィックの設定

危険：本項の手順を行う前に、コンピュータに付属しているガイドの安全にお使いいただくための注意事項を読み、その指示に従ってください。

お使いのグラフィックサブシステムは、さまざまなアプリケーションを実行できるようにあらかじめ設定されています。

グラフィックの設定やパフォーマンスは、各個人の用途に合わせてカスタマイズできます。カスタマイズできる設定には、マルチディスプレイ、NVIDIA SLI テクノロジまたは ATI Crossfire テクノロジ、その他の高度機能の有効化などがあります。

マルチディスプレイ

購入したビデオ装置によっては、2 台以上のディスプレイをサポートできる場合があります。マルチディスプレイのサポートを有効にするには、ディスプレイをもう 1 台取り付け、そのディスプレイをサポートするようにビデオドライバソフトウェアまたはコントロールパネルを設定する必要があります。

危険：本項の手順を行う前に、コンピュータに付属しているガイドの安全にお使いいただくための注意事項を読み、その指示に従ってください。

ディスプレイをもう 1 台取り付けるには、次の手順を実行します。

1 コンピュータとすべての周辺機器の電源が切れていることを確認します。

2 新しいディスプレイをビデオカードの適切なポートに接続します。

メモ：複数のグラフィックカードを搭載した構成の場合、セカンダリカードのビデオポートにプラスチックカバーが取り付けられた状態で出荷されます。これらのビデオポートを使用するときは、カバーを取り外してください。

2 台以上のモニターをサポートするようにディスプレイ設定を変更する

ディスプレイをもう 1 台取り付けたら、ビデオドライバソフトウェアを使用して対象ディスプレイを有効にする必要があります。この手順は、ビデオカードやインストールされているドライバのバージョンによって異なりますが、多くの場合、ビデオカードのコントロールパネルアプレット（NVIDIA Control Panel または ATI Catalyst Control Center）を使用して行うことができます。詳細な手順とオプションについては、該当アプレットのヘルプファイルを参照してください。

メモ：複数のビデオカードを搭載したビデオ装置にディスプレイをもう 1 台接続した場合、マルチ GPU レンダリングテクノロジ（NVIDIA SLI または ATI Crossfire）を無効にするまで、追加したディスプレイに何も表示されません。

NVIDIA SLI テクノロジと ATI Crossfire テクノロジ

お使いのコンピュータは、PCIe グラフィックカードを 3 枚までサポートしています。同一のグラフィックカード 2 枚以上で構成して、NVIDIA SLI（スケーラブルリンクインタフェース）テクノロジまたは ATI Crossfire テクノロジを有効にすることができます。このようにすると、ゲームや 3D アプリケーションのパフォーマンスが向上します。

これらの技術を使用する利点の詳細については、NVIDIA のウェブサイトか ATI のウェブサイトを参照してください。

購入時にマルチカード構成を選択された場合は、お使いのコンピュータに NVIDIA SLI または ATI Crossfire テクノロジを有効にするのに必要なすべてのハードウェアが装備されています。

シングルカード構成からデュアルカード構成にアップグレードする場合は、カードをリンクさせる適切なハードウェアブリッジを購入する必要があります。デュアルカード構成からトリプルカード構成にアップグレードする場合は、今あるデュアルカードブリッジを適切なトリプルカードブリッジと交換してカードをリンクさせる必要があります。

NVIDIA SLI テクノロジの有効化（XPS 730 のみ）

SLI をサポートするには、同一の NVIDIA SLI 対応グラフィックカードを 2 枚以上、SLI ブリッジ、および最新バージョンのドライバが必要です。

NVIDIA SLI テクノロジの有効化は、Windows のコントロールパネルにある NVIDIA Control Panel アプレットを使用して行います。アプレットを開いたら、**Set SLI Configuration** オプションを選択します。**Enable SLI technology** オプションを選択して SLI を有効にします。

メモ：SLI 構成でサポートされるのは、シングルディスプレイのみです。SLI テクノロジを有効にすると、追加したディスプレイが無効になります。

ATI Crossfire テクノロジの有効化

Crossfire テクノロジをサポートするには、ATI 対応の互換グラフィックカードを 2 枚以上、Crossfire ブリッジ（最高のパフォーマンスを得るため）、および最新バージョンのドライバが必要です。

ATI Crossfire テクノロジの有効化は、Windows のコントロールパネルにある ATI Catalyst Control Center アプレットを使用して行います。アプレットを開いたら、**Crossfire** オプションを選択します。**Enable Crossfire** オプションをクリックして Crossfire を有効にします。

メモ：Crossfire 構成でサポートされるのは、シングルディスプレイのみです。Crossfire テクノロジを有効にすると、追加したディスプレイが無効になります。

4

性能の最適化

メモ：ここに記載されている機能の一部は、Dell™ XPS™ 730X コンピュータでは使用できない、または異なる場合があります。詳細に関しては、デルサポートサイト **support.jp.dell.com** を参照してください。

お使いのコンピュータは、さまざまなアプリケーションで最適に機能するようにあらかじめ設定されています。ご購入時の構成によっては、ゲームやマルチメディア開発などリソースを消費するアプリケーションのパフォーマンスを最大にするために、出荷時にコンピュータをクロックアップすることができます。

警告：プロセッサなどのシステムコンポーネントを、出荷時の設定よりも高い周波数で動作させせすることはお勧めしません。クロックアップを行うと、システムが不安定になったり、コンポーネントの寿命が短くなったり、コンポーネントが完全に損傷するおそれがあります。

コンピュータのチューニングが必要な上級ユーザーの方は、XPS 730 の BIOS または詳細設定ソフトウェアを使用して手動で調整できます。

警告：デルテクニカルサポートは、システムが完全に機能することを工場出荷時の設定で検証します。工場出荷時の設定以外で動作しているシステムで発生したハードウェアまたはソフトウェアの問題については、デルテクニカルサポートの対象ではありません。

BIOS を使用したパフォーマンス調整

BIOS の Advanced（詳細設定）ページにある設定から、コンピュータのパフォーマンスを手動で調整できる拡張オプションやコントロールにアクセスできます。

警告：パフォーマンスに関連するパラメータを設定する場合、BIOS のすべてのパラメータを変更できるアクセス権を使用します。このような設定を不適切に変更したり、インストールされているコンポーネントの許容範囲外のオプションを選択すると、システムが不安定になったり、コンポーネントの寿命が短くなったり、コンポーネントが完全に損傷するおそれがあります。

ソフトウェアを使用したパフォーマンス調整（XPS 730 のみ）

お使いのコンピュータには、NVIDIA ESA（Enthusiast System Architecture）と互換性のあるコンポーネントが備わっています。ESA は、リアルタイムの監視と、システム内の温度、電源、音響、および動作の特性を制御するための PC プロトコルです。

上級ユーザー用に、インストールされている ESA 互換コンポーネントを監視およびカスタマイズするためのアプリケーションが事前にインストールされています。

ESA の詳細については、**nvidia.com/object/nvidia_esa.html** を参照してください。

NVIDIA Performance

NVIDIA Performance アプリケーションは、NVIDIA nTune アプリケーションで以前提供されていた多くの機能を NVIDIA Control Panel の Performance セクションに統合します。

メモ：ユーザーが NVIDIA Control Panel の Performance セクションを使用するには、エンドユーザーライセンス契約に同意する必要があります。

Device Settings

アプリケーションの起動時に、CPU、ビデオカード、メモリ、システム基板、シャーシコンポーネントなどの、取り付けられている ESA 互換デバイスが検出されます。

Device Settings のインタフェースでコンポーネントを選択すると、そのコンポーネントに利用できる設定やオプションが表示されます。上級ユーザーは、これらのオプションを手動で調整して、お使いのコンピュータのパフォーマンスをカスタマイズできます。これらの設定は、後で呼び出せるようにプロファイルに保存できます。

警告：パフォーマンスに関連するパラメータを設定する場合、BIOS のすべてのパラメータを変更できるアクセス権を使用します。このような設定を不適切に変更したり、インストールされているコンポーネントの許容範囲外のオプションを選択すると、システムが不安定になったり、コンポーネントの寿命が短くなったり、コンポーネントが完全に損傷するおそれがあります。

Dynamic BIOS Access

NVIDIA Control Panel のこのセクションでは、Windows® のユーザーインタフェースを使用して利用可能な BIOS 設定を変更できます。オプションや設定に対する変更内容は、次回起動時に反映されます。

View System Information

NVIDIA Control Panel のこのセクションでは、コンピュータとインストールされているドライバのバージョン情報を確認できます。この情報は、詳細な調査やテクニカルサポートのために、ファイルに保存できます。

Profile Policies

Profile Policies セクションでは、Device Settings セクションで保存したプロファイルを使用するタイミングと方法を定義できます。

LED Control

LED Control セクションでは、シャーシの LED の色と強さをカスタマイズできます。また、このインタフェースを使用して、LED を作成および保存し、そのカスタマイズした LED を適用することもできます。

NVIDIA Monitor

NVIDIA Monitor アプリケーションを使用して、お使いのコンピュータ内にある互換コンポーネントのパフォーマンスを監視、追跡、および記録できます。

記録されたデータは、時系列的なコンピュータのパフォーマンスの追跡に使用できるようになるほか、システム設定に加えられた変更の効果を評価するためにも使用できます。

アプリケーションの起動時に、CPU、ビデオカード、メモリ、システム基板、シャーシコンポーネントなどの、取り付けられている ESA 互換デバイスが検出されます。インタフェースでコンポーネントを選択すると、そのコンポーネントの動作特性についてリアルタイムのデータが表示されます。特性には、電圧、ファン速度、使用状況、温度などがあります。

NVIDIA Monitor は次のようにカスタマイズできます。

- モニタ、グラフ、ログの重要パフォーマンス特性を選択します。
- 記録間隔とパフォーマンスのしきい値を設定します。
- ユーザー定義のイベントを設定して記録します。
- アプリケーションのキーストロークをカスタマイズします。

5

トラブルシューティング

危険：コンピュータ内部の作業を始める前に、お使いのコンピュータに付属しているガイドの安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ（www.dell.com/regulatory_compliance）をご覧ください。

診断ツール

Dell™ Diagnostics（診断）

コンピュータに問題が生じた場合は、テクニカルサポートに問い合わせる前に、38 ページの「問題の解決」のチェック事項を実行してから、Dell Diagnostics を実行してください。

メモ：Dell Diagnostics（診断）プログラムは、Dell コンピュータ上でのみ動作します。Dell Diagnostics 診断プログラムは、ハードドライブまたは『Drivers and Utilities』メディアから実行できます。

Dell Diagnostics をハードドライブから起動する場合

1 コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。

2 DELL ロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。

メモ：キーを長く押したままにすると、キーボードエラーが発生する場合があります。キーボードエラーを回避するには、<F12> を押して放す操作を等間隔で行って 起動デバイスメニューを開いてください。

メモ：診断ユーティリティパーティションが見つからなかったことを知らせるメッセージが表示された場合は必ず、『Drivers and Utilities』メディアから Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行してください。

キーを押すタイミングが遅れて OS のロゴが表示されてしまったら、Microsoft® Windows® デスクトップが表示されるのを待ち、コンピュータをシャットダウンして操作をやりなおしてください。

3 起動デバイスメニュー で、上下の矢印キーを使用するか、キーボードの適切な数値キーを押して、**ユーティリティパーティションから起動**をハイライト表示して、<Enter> を押します。

メモ : クイックブート機能により、今回の起動に限り起動順序が変更されます。再起動すると、コンピュータは BIOS で指定された起動順序に従って起動します。

4 Dell Diagnostics（診断）プログラムのメインメニューで、マウスを左クリックするか、<Tab> を押し、次に <Enter> キーを押して、実行するテストを選択します。

メモ : エラーコードと問題の説明を正確にそのまま書き留め、画面の指示に従います。

5 すべてのテストが完了したら、テストウィンドウを閉じ、Dell Diagnostics（診断）の Main Menu（メインメニュー）に戻ります。

6 Main Menu（メインメニュー）ウィンドウを閉じて Dell Diagnostics（診断）プログラムを終了し、コンピュータを再起動します。

Dell Diagnostics を『Drivers and Utilities』メディアから起動する場合

1 コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。

2 オプティカルドライブの正面にあるイジェクトボタンを押して、ドライブトレイを開きます。

3 『Drivers and Utilities』メディアをトレイの中央に置き、イジェクトボタンを押すか、トレイを軽く押して、トレイを閉じます。

4 コンピュータを再起動します。

5 DELL ロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。

メモ : キーボードのキーを長時間押したままにすると、キーボードエラーが発生する場合があります。キーボードエラーを回避するには、**起動デバイスメニュー** が表示されるまで、<F12> を押して放す操作を等間隔で行ってください。

キーを押すタイミングが遅れて Windows のロゴが表示されてしまったら、Windows デスクトップが表示されるまでそのまま待機し、コンピュータをシャットダウンして操作をやりなおしてください。

6 起動デバイスメニュー で、上下の矢印キーを使用するか、キーボードの適切な数値キーを押して、**オンボードまたは USB CD-ROM** をハイライト表示して、<Enter> を押します。

メモ : クイックブート機能により、今回の起動に限り起動順序が変更されます。再起動すると、コンピュータは BIOS で指定された起動順序に従って起動します。

7 CD-ROM スタートアップメニュー で、上下の矢印キーを使用するか、キーボードの適切な数値キーを押して、**CD-ROM から起動**をハイライト表示して、<Enter> を押します。

キーを押すタイミングが遅れて Windows のロゴが表示されてしまったら、Windows デスクトップが表示されるまでそのまま待機し、コンピュータをシャットダウンして操作をやりなおしてください。

8 <1> を押して Dell Diagnostics（診断）プログラムを選択します。

9 Dell Diagnostics（診断）プログラムメニュー で <1> を押して、Dell Diagnostics（診断）プログラム（GUI）を選択します。

10 Dell Diagnostics（診断）プログラムのメインメニューで、マウスを左クリックするか、<Tab> を押し、次に <Enter> キーを押して、実行するテストを選択します。

メモ : エラーコードと問題の説明を正確にそのまま書き留め、画面の指示に従います。

11 すべてのテストが完了したら、テストウィンドウを閉じ、Dell Diagnostics（診断）の Main Menu（メインメニュー）に戻ります。

12 『Drivers and Utilities』メディアを取り出し、メインメニューウィンドウを閉じて Dell Diagnostics（診断）プログラムを終了し、コンピュータを再起動します。

Dell Diagnostics（診断）プログラムのメインメニュー

Dell Diagnostics（診断）プログラムのメインメニューから、以下のテストが実行できます。

オプション	機能
Express Test	システムデバイスのクイックテストを実行します。このテストは通常 10 ～ 20 分かかり、途中でユーザーが操作する必要はありません。最初に Express Test を実行すると、問題をさらにすばやく特定できる可能性が増します。
Extended Test	システムデバイスの全体チェックを実行します。このテストは通常 1 時間以上かかり、時々表示される個々の質問に回答を入力する必要があります。
Custom Test	システム内の特定のデバイスをテストします。このオプションを使用して、実行するテストをカスタマイズすることができます。
Symptom Tree	一般的な症状が一覧表示され、発生している問題の症状に基づいてテストを選択できます。

テスト中に問題が検出されると、エラーコードと問題を説明するメッセージが表示されます。エラーコードと問題の説明を正確にそのまま書き留め、画面の指示に従います。問題を解決できない場合は、デルにお問い合わせください（70 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

メモ：お使いのコンピュータのサービスタグは、各テスト画面の上部にあります。デルにお問い合わせになると、サービスタグを尋ねられますので、事前に確認しておいてください。

以下のタブには、**Custom Test** または **Symptom Tree** オプションから実行されるテストの追加情報が表示されます。

タブ	機能
Results	テストの結果、および発生したすべてのエラーの状態を表示します。
Errors	検出されたエラー状態、エラーコード、問題の説明が表示されます。
Help	テストの説明が表示されます。テスト実行の要件があれば、その説明も表示されます。
Configuration （Custom Test のみ）	選択したデバイスのハードウェア構成が表示されます。 Dell Diagnostics（診断）プログラムは、BIOS、メモリ、およびさまざまな内部テストからデバイスの設定情報を入手し、画面の左側ペインのデバイス一覧に表示します。 **メモ：**デバイス一覧には、コンピュータに取り付けられたすべてのコンポーネント名、またはコンピュータに接続されたすべてのデバイス名が表示されるとは限りません。
Parameters （Custom Test のみ）	必要に応じてテストの設定を変更し、テストをカスタマイズすることができます。

MP メモリテスト

MP（マルチプロセッサ）メモリテストは Dell Diagnostics（診断）プログラムの一部で、システムメモリに対してハードウェアレベルの徹底的なテストを実行します。メモリに問題がある疑いがある場合は、次の手順に従って MP メモリテストを実行します。

1 コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。

2 DELL ロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。

キーを押すタイミングが遅れて OS のロゴが表示されてしまったら、Microsoft Windows デスクトップが表示されるまでそのまま待機し、コンピュータをシャットダウンして操作をやりなおしてください。

3 **起動デバイスメニュー**で、上下の矢印キーを使用するか、キーボードの適切な数値キーを押して、**ユーティリティパーティションから起動**をハイライト表示して、<Enter> を押します。

4 <Tab> キーを押して、**Test Memory**（メモリのテスト）を選択します。Test Memory（メモリのテスト）が表示されない場合、MP メモリは利用可能ではありません。

困ったときは

デルサポートセンターでは、サービス、サポート、およびシステム別情報を提供しています。デルサポートセンターの詳細については、**support.jp.dell.com** のデルカスタマサポートホームページにアクセスしてください。

お使いのコンピュータのデスクトップにあるデルサポートセンターアイコン をクリックすると、アプリケーションが実行され、次の機能にアクセスできます。

- デルサポート 3、Dell PC Tune-Up（Dell PC のチューンアップ）、Dell PC Checkup（デル PC のチェックアップ）、Network Assistant（ネットワークアシスタント）などのセルフヘルプツール
- リアルタイムのリモートテクニカルサポートである DellConnect（デルコネクト）
- 電子メールアドレス、オンラインチャットアドレス、電話番号など、デルサポートの連絡先情報
- お使いのコンピュータ専用のリソースには、**ドライバ&ダウンロード、アップグレード、**および**システム情報**の各セクションからアクセスできます。

デルサポートセンターホームページの最上部には、お使いのコンピュータのモデル番号と、サービスタグ、エクスプレスサービスコード、および保証期限の詳細が表示されます。サービスタグの使用がデルに許可されると、利用可能なメモリ、ディスク容量、取り付けられているハードウェア、ネットワークアドレス、モデムの仕様、インストールされているセキュリティソフトウェアなど、お使いのコンピュータに関する詳細が表示されます。

また、サービスタグを使用することで、お客様の保証、アクセサリの注文、推奨ドライバおよびダウンロードファイルのインストールの詳細などの情報が記載された **dell.com/jp** のウェブページへのリンクを提供します。

デルサポート 3

デルサポート 3 は、お使いのコンピュータ環境にカスタマイズされています。このユーティリティは、セルフサポート情報、ソフトウェアのアップデート、およびコンピュータ環境の状態のスキャンに使用します。このユーティリティの用途は次のとおりです。

- お使いのコンピュータ環境のチェック
- デルサポート 3 の設定の表示
- デルサポート 3 ヘルプファイルの表示
- よくあるお問い合わせ（FAQ）の表示
- デルサポート 3 の詳細の表示

- デルサポート 3 をオフにする

デルサポート 3 の詳細に関しては、デルサポート 3 ウィンドウの上部にある疑問符（**?**）をクリックしてください。

デルサポート 3 にアクセスするには、次の手順に従います。

- Windows デスクトップの通知領域に表示されているデルサポート 3 アイコン をクリックします。

  メモ： アイコンは、アイコンをクリック、ダブルクリック、または右クリックする場合でそれぞれ機能が異なります。

  または

- **スタート**ボタン → **すべてのプログラム** → **Dell Support 3（デルサポート 3）** → **Dell Support Settings（デルサポート設定）**をクリックします。**タスクバーのアイコンを表示する**オプションがチェックされていることを確認します。

   メモ：デルサポート 3 が スタート メニューから利用できない場合は、**support.jp.dell.com** からソフトウェアをダウンロードしてください。

Dell PC Tune-Up（Dell PC のチューンアップ）

Dell PC Tune-Up（Dell PC のチューンアップ）の自動バージョンまたは月 1 回バージョンを使用すると、毎月選択した日時にお使いのコンピュータをチューンアップできます。標準のチューンアップ処理には、ハードドライブのデフラグ、不要な一時ファイルの削除、セキュリティ設定の更新、適切な復元ポイントの検証など、コンピュータのパフォーマンスとセキュリティの向上につながるメンテナンス処理が含まれています。

月 1 回バージョンは年間契約で、デルサポート 3 の機能の一つとして組み込まれます。デルサポート 3 は、コンピュータの状態をリアルタイムにスキャンしたり、お使いのコンピュータのメンテナンス方法を提供する無料のアプリケーションです（33 ページの「デルサポート 3」を参照）。

米国およびカナダでは、どちらのバージョンの PC Tune-Up も、ご利用いただけます。月 1 回バージョンの詳細、およびコンピュータの最高のパフォーマンスを維持する方法については、**support.jp.dell.com** のサービスページにある PC Tune-Up ページにアクセスしてください。

Dell PC Checkup（デル PC チェックアップ）

Dell PC Checkup（デル PC チェックアップ）は、お使いの Dell コンピュータにあわせてカスタマイズされたスキャンとテストを提供する、トラブルシューティングおよび診断ツールです。ハードウェアが正常に機能しているか検証し、一般的な設定の問題を自動修復します。PC Checkup（PC チェックアップ）を定期的に実行することをお勧めします。また、デルへのお問い合わせの前に実行することも有効です。このアプリケーションで生成される詳細なレポートは、デルの技術者がお客様のコンピュータの問題を解決する際に役立ちます。

Dell Network Assistant（デルネットワークアシスタント）

Dell Network Assistant（デルネットワークアシスタント）は、Dell コンピュータをお使いのお客様専用に設計されており、ネットワークのセットアップ、監視、トラブルシューティング、および修復を簡単にします。

Dell Network Assistant（デルネットワークアシスタント）には次のような機能があります。

- セットアップ、警告、デバイスステータスの統合管理。
- ネットワーク接続されたデバイスの接続状態を視覚的に表示することによって簡素化されたトラッキング。
- ネットワークの問題の予防的なトラブルシューティング、および修復。
- ネットワークの動作に関する理解を深めるための、チュートリアル、セットアップウィザード、よくあるお問い合わせ（FAQ）。

Dell Network Assistant（デルネットワークアシスタント）にアクセスするには、次の手順に従います。

1 コンピュータのデスクトップでデルサポートセンターアイコン をクリックします。

2 **ヘルプ** → **ネットワーク / インターネット** → **ネットワーク管理**をクリックします。

DellConnect™

DellConnect（デルコネクト）は簡単なオンラインアクセスツールで、デルのサービスおよびサポート担当者はこのツールを使用して、お客様の監視の下でインターネット接続を通じてお客様のコンピュータにアクセスし、問題の診断と修復を行うことができます。担当者はお客様の許可を得てお客様に確認していただきながら作業を行うので、お客様は担当者と協力してトラブルシューティングを行うことができます。

このサービスを使用するには、インターネットに接続できること、およびお使いのデルコンピュータが保証期間内であることが必要です。DellConnect（デルコネクト）は、デルテレフォンアドバイザーを通じて有料で利用することもできます。

デルの担当者とのライブセッションを開始するには、次の手順に従います。

1 コンピュータのデスクトップでデルサポートセンターアイコン をクリックします。

2 **Assistance From Dell（デルのアシスタンス）→ Technical Support（テクニカルサポート）→ DellConnect（デルコネクト）→ Phone（電話）**をクリックし、指示に従います。

デルテクニカルアップデートサービス

デルテクニカルアップデートサービスは、お使いのコンピュータに関するソフトウェアおよびハードウェアのアップデートを電子メールにて事前に通知するサービスです。このサービスは無償で提供され、内容、フォーマット、および通知を受け取る頻度をカスタマイズすることができます。

デルテクニカルアップデートサービスに登録するには、**support.dell.com/technicalupdate**（英語）にアクセスしてください。

診断インジケータ

電源ボタン LED のステータス

コンピュータの前面にある電源ボタン LED は、点滅または点灯することで以下のさまざまな動作状態を示します。

- 電源ライトが白色で点灯している場合、コンピュータは電源が入った状態で正常に動作しています。
- 電源ライトが白色で点滅している場合、コンピュータはスタンバイモードに入っています。キーボードのキーを押したり、マウスを動かしたり、電源ボタンを押したりすると、通常の動作が再開されます。
- 電源ライトが消灯している場合は、コンピュータの電源が切れているか、電力が供給されていません。
  - 電源ケーブルをコンピュータ背面の電源コネクタとコンセントの両方にしっかりと装着しなおします。
  - コンピュータが電源タップに接続されている場合、電源タップがコンセントに接続されていて電源が入っていることを確認します。
  - 電源保護装置、電源タップ、電源延長ケーブルなどをお使いの場合、それらを取り外してコンピュータに正しく電源が入るか確認します。
  - 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントが機能しているか確認します。

– 主電源ケーブルおよび前面パネルケーブルがシステム基板にしっかりと接続されているかを確認します（**support.jp.dell.com** の『サービスマニュアル』を参照）。

メモ：スリープ状態では、前面パネルと背面パネルの LED はすべてオフになります。

ビープコード

お使いのコンピュータの起動時に、ビープ音が連続して鳴ることがあります。この連続したビープ音はビープコードと呼ばれ、お使いのコンピュータの問題を特定するのに役立てるために使用できます。

お使いのコンピュータの起動時に、ビープ音が連続して鳴る場合には、次の手順に従います。

1 ビープコードを書き留めます。
2 Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行し、その原因をつきとめます（29 ページの「Dell™ Diagnostics（診断）」を参照）。
3 70 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。

コード（短いビープ音の繰り返し回数）	説明
1	BIOS ROM チェックサムが実行中、またはエラー発生。マザーボード障害の可能性。
2	メモリが検出されない。
3	マザーボード障害の可能性。 • チップセットエラー • 時刻機構停止障害 • ゲート A20 障害 • スーパー I/O チップエラー • キーボードコントローラテスト障害
4	RAM 書き込み / 読み取り障害。メモリ障害の可能性。
5	RTC 電源障害。CMOS バッテリ障害の可能性。
6	ビデオ BIOS テスト障害。ビデオカード障害の可能性。
7	CPU キャッシュテスト障害（Intel CPU のみ）。CPU 障害の可能性。

問題の解決

ソフトウェアとハードウェアの問題のトラブルシューティング

デバイスが OS のセットアップ中に検知されない、または、検知されても設定が正しくない場合は、ハードウェアに関するトラブルシューティングを利用して OS とハードウェアの不適合の問題を解決できます。

Windows XP の場合

1. **スタート**をクリックして**ヘルプとサポート**をクリックします。
2. **検索**フィールドに ハードウェアに関するトラブルシューティング と入力し､矢印をクリックして検索を開始します。
3. **検索の結果**の一覧で､**ハードウェアのトラブルシューティング**をクリックします。
4. **ハードウェアに関するトラブルシューティング**一覧で、**コンピュータにあるハードウェアの競合を解決します**をクリックして、**次へ**をクリックします。

Windows Vista の場合

1. **スタート** をクリックして**ヘルプとサポート**をクリックします。
2. 検索フィールドに、`hardware troubleshooter` と入力し、<Enter> を押して検索を開始します。
3. 検索結果のうち、問題を最もよく表しているオプションを選択し、残りのトラブルシューティング手順に従います。

バッテリーの問題

危険：バッテリーの取り付け方が間違っていると、破裂するおそれがあります。バッテリーを交換する場合は、同じバッテリー、または製造元が推奨する同等のバッテリーのみを使用してください。使用済みのバッテリーは、製造元の指示に従って廃棄してください。

バッテリーの交換 — コンピュータの電源を入れた後､時間と日付の情報を繰り返し再設定する必要があったり、起動時に間違った時間や日付が表示される場合は、バッテリを交換します（**support.jp.dell.com** の『サービスマニュアル』を参照)。バッテリーを交換しても問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください。

ドライブの問題

MICROSOFT® WINDOWS® がドライブを認識しているかを確認します —

Windows XP の場合

- **スタート**をクリックし、**マイコンピュータ**をクリックします。

Windows Vista の場合

- **スタート** をクリックし、**コンピュータ**をクリックします。

ドライブが一覧に表示されていない場合、アンチウイルスソフトでウイルスチェックをおこない、ウイルスの除去をおこないます。ウイルスが原因で Windows がドライブを検出できないことがあります。

ドライブをテストします —

- 元のドライブに欠陥がないことを確認するために、別のディスクを挿入します。
- 起動可能メディアを挿入して、コンピュータを再起動します。

ドライブまたはディスクをクリーニングします

ケーブルの接続を確認します

ハードウェアに関するトラブルシューティングを実行します — 38 ページの「ソフトウェアとハードウェアの問題のトラブルシューティング」を参照してください。

DELL DIAGNOSTICS を実行します — 29 ページの「Dell™ Diagnostics（診断）」を参照してください。

ハードドライブの問題

チェックディスクを実行します —

Windows XP の場合

1 **スタート**をクリックし、**マイコンピュータ**をクリックします。
2 **ローカルディスク（C:）**を右クリックします。
3 **プロパティ**→ **ツール** → **チェックする**をクリックします。
4 **不良なセクタをスキャンし回復する**をクリックし、**スタート**をクリックします。

Windows Vista の場合

1 **スタート** をクリックして、コンピュータ をクリックします。
2 **ローカルディスク（C:）**を右クリックします。
3 **プロパティ**→ **ツール** → **チェックする**をクリックします。

   ユーザーアカウント制御 ウィンドウが表示される場合があります。お客様がコンピュータの管理者の場合は、**続行**をクリックします。管理者でない場合は、管理者に問い合わせて目的の操作を続行します。

4 画面の指示に従います。

メモリの問題

メモリの問題が発生する場合 —

- メモリモジュールを装着しなおし（support.jp.dell.com の『サービスマニュアル』を参照）、コンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します。
- メモリの取り付けガイドラインに従っているか確認します（support.jp.dell.com の『サービスマニュアル』を参照）。
- 使用するメモリがお使いのコンピュータでサポートされていることを確認します。お使いのコンピュータに対応するメモリの詳細については、63 ページの「仕様」を参照してください。

- すべてのメモリを取り外し、マイクロプロセッサに一番近いスロットにモジュールを装着して 1 枚ずつテストします（support.jp.dell.com の 『サービスマニュアル』を参照）。
- MP メモリテストを実行します（32 ページの「MP メモリテスト」を参照）。
- Dell Diagnostics を実行します（29 ページの「Dell™ Diagnostics（診断）」を参照）。

電源の問題

すべてのコンポーネントとケーブルが正しく取り付けられ、システム基板にしっかりと接続されていることを確認します。

デバイスが故障しているか、または正しく取り付けられていない可能性があります。

- すべてのメモリモジュールを取り外して、取り付けなおします。
- グラフィックスカードを含むすべての拡張カードを取り外して、取り付けなおします。

電源ライトが消灯している場合

コンピュータの電源が切れているか、またはコンピュータに電力が供給されていません。

- 電源ケーブルをコンピュータ背面の電源コネクタとコンセントにしっかりと装着しなおします。
- 電源タップ、電源延長ケーブル、およびその他のパワープロテクションデバイスを使用している場合は、それらを外してコンピュータの電源が正常に入ることを確認します。
- 使用している電源タップがあれば、電源コンセントに接続され、オンになっていることを確認します。
- 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントが機能しているか確認します。
- 主電源ケーブルおよび前面パネルケーブルがシステム基板にしっかりと接続されているかを確認します（support.jp.dell.com の『サービスマニュアル』を参照）。
- グラフィックスカードを含む拡張カードをすべて取り外して、取り付けなおします（support.jp.dell.com の『サービスマニュアル』を参照）。

内蔵診断テスト（BIST）を使用した電源テスト — 電源には、電源の問題を診断するためのセルフテストが内蔵されています。このテストを実行するには、次の手順に従います。

1. 外付け周辺機器をすべて取り外します。
2. 電気が正常に供給されているコンセントに、システムが直接接続されていることを確認します。
3. 電源の背面にある BIST スイッチを押します。LED が緑色に点灯した場合、電源は正常に動作しています。LED が点灯しなかった場合、問題を解決するために次の手順に従います。
   a. 電源装置から電源コードのプラグを抜きます。コンピュータカバーを開きます。
   b. 電源ケーブルのハーネスを電源から抜きます。
   c. 電源コードを電源に差し込み、BIST スイッチを使用して電源を再起動します。
   – LED が緑色に点灯した場合、電源は正常に動作しています。内部コンポーネントが電力障害を起こしている可能性が高くなっています。これ以上のトラブルシューティングについては、テクニカルサポートにお問い合わせください。
   – LED が緑色に点灯しなかった場合、これ以上のトラブルシューティングについてはテクニカルサポートにお問い合わせください。

オペレーティングシステムの復元

次の手順を実行すると、オペレーティングシステムを安定していたときの状態に戻すことができます。

- Microsoft Windows システムの復元は、Windows XP と Windows Vista に付属のコンポーネントです。Microsoft Windows システムの復元は、データファイルに影響を及ぼすことなく、コンピュータを以前の状態に戻します。データファイルを保存したまま OS を復元するための最初の解決策として、システムの復元を実行してください。
- シマンテック製の Dell PC Restore（Windows XP で利用可能）および Dell Factory Image Restore（Windows Vista で利用可能）は、お使いのハードドライブを、コンピュータを購入されたときの状態に戻します。これらによって、ハードドライブ内の全データが永久に削除され、またコンピュータを受け取った後にインストールしたプログラムはすべて削除されます。Dell PC リストアまたは Dell Factory Image Restore は、システムの復元でオペレーティングシステムの問題を解決できなかった場合にのみ使用してください。

Microsoft Windows システムの復元の使用

ハードウェア、ソフトウェア、またはその他のシステム設定を変更したために、コンピュータが正常に動作しなくなってしまった場合は、Windows オペレーティングシステムのシステムの復元オプションを使用して、コンピュータを以前の動作状態に復元することができます（データファイルへの影響はありません）。システムの復元オプションによってコンピュータに行なわれる変更は、完全に元に戻すことが可能です。

警告：データファイルのバックアップを定期的に作成してください。システムの復元は、データファイルの監視や、データファイルの復元は行いません。

メモ：このマニュアルに記載されている手順は、Windows のデフォルト表示用に書かれているため、お使いのコンピュータをクラシック表示に設定している時には適用されない場合があります。

システムの復元の開始

Windows XP の場合

警告：コンピュータを以前の動作状態に復元する前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。

1 **スタート** → **すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** → **システムの復元**をクリックします。

2 **コンピュータを以前の状態に復元する**、または**復元ポイントの作成**のいずれかをクリックします。

3 **次へ**をクリックして、画面に表示される指示に従います。

Windows Vista の場合

1 **スタート** ボタンをクリックします。

2 **検索の開始**ボックスに System Restore（システムの復元）と入力し、<Enter> を押します。

メモ：ユーザーアカウント制御 ウィンドウが表示される場合があります。お客様がコンピュータの管理者の場合は、**続行**をクリックします。管理者でない場合は、管理者に問い合わせて目的の操作を続行します。

3 **次へ**をクリックして、画面に表示される指示に従います。

4 システムの復元を実行しても問題が解決しなかった場合は、最後に行ったシステムの復元を取り消すことができます。

以前のシステムの復元の取り消し

警告：以前のシステムの復元を取り消す前に、開いているファイルをすべて保存して閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも削除したりしないでください。

Windows XP の場合

1 **スタート** → **すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** → **システムの復元**をクリックします。

2 **以前の復元を取り消す**をクリックして、**次へ**をクリックします。

Windows Vista の場合

1 **スタート** をクリックします。

2 **検索の開始**ボックスに System Restore（システムの復元）と入力し、<Enter> を押します。

3 **以前の復元を取り消す**をクリックして、**次へ**をクリックします。

Dell PC Restore と Dell Factory Image Restore の使用

警告：Dell PC リストア、Dell Factory Image Restore のいずれを使用しても、ハードディスクドライブ上の全データが永久に削除され、またコンピュータを受け取った後にインストールしたプログラムはすべて削除されます。Dell Factory Image Restore（デル出荷時のイメージの復元）を使用する前にデータをバックアップしてください。Dell PC Restore または Dell Factory Image Restore は、Microsoft Windows システムの復元でオペレーティングシステムの問題を解決できなかった場合にのみ使用してください。

メモ：シマンテック製の Dell PC リストアおよび Dell Factory Image Restore は、国またはコンピュータによってはご利用になれない場合があります。

Dell PC Restore（Windows XP）または Dell Factory Image Restore（Windows Vista）は、オペレーティングシステムを復元する際の最終的な方法として使用してください。これらのオプションにより、ハードドライブはコンピュータの工場出荷時の動作状態に戻ります。コンピュータ購入後に追加したプログラムやファイルを始め、データファイルもハードドライブから完全に削除されます。データファイルには、コンピュータ上の文書、表計算、メールメッセージ、デジタル写真、ミュージックファイルなどが含まれます。可能な場合は、PC Restore または Factory Image Restore を使用する前にすべてのデータをバックアップするようにしてください。

Windows XP：Dell PC リストア

Dell PC リストアの使い方：

1. コンピュータの電源を入れます。起動プロセスの間、www.dell.com/jp と書かれた青色のバーが画面の上部に表示されます。
2. 青いバーが表示されたら、<Ctrl><F11> を押します。

   <Ctrl><F11> を押すタイミングが遅れた場合は、コンピュータの起動完了を待ち、再起動します。

警告：PC Restore の作業を続けたくない場合は、Reboot（再起動）をクリックします。

3. **復元**をクリックし、**確認**をクリックします。

   復元処理は完了までに約 6 〜 10 分かかります。
4. プロンプトが表示されたら、**終了**をクリックしてコンピュータを再起動します。

   メモ：コンピュータを手動でシャットダウンしないでください。**終了**をクリックすると、コンピュータが完全に再起動されます。
5. 確認のメッセージが表示されたら、**はい**をクリックします。

   コンピュータが再起動します。コンピュータは初期の稼動状態に復元されるため、エンドユーザーライセンス契約のようにいちばん初めにコンピュータのスイッチを入れたときと同じ画面が表示されます。
6. **次へ**をクリックします。

   システムの復元画面が表示されて、コンピュータが再起動します。
7. コンピュータが再起動したら、**OK** をクリックします。

Windows Vista：Dell Factory Image Restore

Factory Image Restore の使い方：

1. コンピュータの電源を入れます。Dell ロゴが表示されたら、<F8> を数回押して Vista の**詳細ブートオプション**ウィンドウにアクセスします。
2. **お使いのコンピュータの修復**を選択します。

   System Recovery Options（システム回復オプション）ウィンドウが表示されます。

3 キーボードレイアウトを選択して、**次へ**をクリックします。
4 回復オプションにアクセスするために、管理者権限のあるローカルユーザーとしてログオンします。
5 **Dell Factory Image Restore** をクリックします。

メモ：使用する構成によっては、Dell Factory Tools、Dell Factory Image Restore の順番で選択しなければならない場合もあります。

Dell Factory Image Restore（デル出荷時のイメージの復元）の初期画面が表示されます。

6 **次へ**をクリックします。

データの削除を確認する画面が表示されます。

警告：Factory Image Restore の作業を続けたくない場合は、Cancel（キャンセル）をクリックします。

7 ハードドライブの再フォーマット、およびシステムソフトウェアの工場出荷時の状態への復元の作業を続ける意思を確認するためのチェックボックスをオンにして、**次へ**をクリックします。

復元処理が開始されます。復元処理が完了するまで 5 分以上かかる場合があります。OS および工場出荷時にインストールされたアプリケーションが工場出荷時の状態に戻ると、メッセージが表示されます。

8 **Finish**（完了）をクリックして、システムを再起動します。

オペレーティングシステムの再インストール

Windows を再インストールするには、以下のアイテムが必要です。

- デルの『Operating System』メディア
- デルの『Drivers and Utilities』メディア

作業を開始する前に

オペレーティングシステムをメディアから再インストールすると、ハードドライブからすべてのデータが完全に削除されます。インターネットのお気に入り、写真、文書、動画、音楽、電子メールアーカイブ、その他の保存しておきたいメディアや個人情報について、完全バックアップを作成することが重要です。

オペレーティングシステムをメディアから再インストールする場合、取り付けたコンポーネント用のハードウェアドライバもすべて再インストールする必要があります。このようなドライバやソフトウェアは、提供されているメディアか **support.jp.dell.com** の Drivers and Downloads（ドライバおよびダウンロード）セクションに用意されています。

メモ：デルが提供する『Drivers and Utilities』メディアには、コンピュータの製造工程でプリインストールされたドライバが収録されています。デルの『Drivers and Utilities』メディアを使用して、必要なドライバをロードします。コンピュータを発注した地域によって、またはメディアを購入品目に加えたかどうかによって、デルの『Drivers and Utilities』メディアと『Operating System』メディアがシステムに同梱されていない場合があります。

オペレーティングシステムをメディアから再インストールすると、生産性アプリケーション（Microsoft Office）、メールアプリケーション、グラフィックおよびオーディオアプリケーション、メディア再生ソフトウェア、DVD 再生ソフトウェア、アンチウイルスまたはアンチスパイウェアユーティリティなど、すべてのソフトウェアやアプリケーションを再インストールする必要も生じます。必要な場合は、こうしたアプリケーションを再インストールするためのメディアを提供しています。一部のユーティリティとソフトウェアは、**support.jp.dell.com** の Drivers and Downloads（ドライバとダウンロード）セクションに用意されています。

Windows XP の再インストール

再インストール処理を完了するには、1 〜 2 時間かかることがあります。OS を再インストールした後、デバイスドライバ、アンチウイルスプログラム、およびその他のソフトウェアを再インストールする必要があります。

警告：『Operating System』メディアには、Windows XP の再インストール用のオプションが収録されています。オプションはファイルを上書きして、ハードディスクドライブにインストールされているプログラムに影響を与える可能性があります。このような理由から、デルのテクニカルサポート担当者の指示がない限り、Windows XP を再インストールしないでください。

メモ：オペレーティングシステムの再インストールには、同梱されている『Operating System』メディアを使用することを強くお勧めします。このメディアには、Windows XP のインストールに必要なすべてのドライバが収録されています。市販のメディアやサードパーティのメディアを使用した場合、オペレーティングシステムのインストール中に追加のドライバを供給する必要が生じることがあります。

1. Windows XP CD を CD ドライブに挿入し、コンピュータを再起動します。
2. 初期インストールファイルがロードされたら、<Enter> キーを押して Windows XP をセットアップします。
3. **Windows XP ライセンス契約**で、使用許諾契約書を確認します。契約書の表示をスクロールするには、<Page Down> キーを押します。
4. 使用許諾契約書の条項に同意する場合は、<F8> キーを押します。

メモ：デフォルトで、未使用の領域 がハイライト表示されます。以前作成したものではないパーティションが表示された場合、それは PC 復元パーティション用（2.7 〜 4.75 GB）またはノートパソコンの MediaDirect 用のパーティション（1.2 GB）である可能性があります。

5 **Windows XP セットアップ**パーティション画面で、オペレーティングシステムをインストールするパーティションを選択します。また、パーティションの削除、またはインストール用のパーティションの新規作成も選択できます。

6 **Windows XP セットアップ**画面に **NTFS ファイルシステムを使用してパーティションをフォーマット**がハイライト表示されたら、<Enter> キーを押すか、該当する場合は <F> キーを押して、パーティションをフォーマットします。

7 パーティションのフォーマットが完了したら、**Windows XP セットアップ** は必要なファイルをそのパーティションにコピーし、コンピュータを再起動します。

メモ : Press any key to boot from the CD（CD から起動する場合は、いずれかのキーを押してください）というメッセージが表示されても、キーを押さないでください。

上記の手順を完了するまでの時間は、コンピュータの処理速度とディスクサイズによって異なります。

8 **地域と言語のオプション**ウィンドウの**次へ**をクリックします。**ソフトウェアの個人用設定**画面が表示されます。

9 **名前：**フィールドに名前を入力し、該当する場合は**組織名：**フィールドに所属組織名を入力して、**次へ**をクリックします。コンピュータ名 画面が表示されます。

10 指定されている名前を変更する場合は、コンピュータ名：フィールドに別のコンピュータ名を入力します。

メモ : Windows XP Professional Edition の場合は、Administrator のパスワード：フィールドにパスワードを入力し、同じパスワードを パスワードの確認：フィールドに入力します。

11 **次へ**をクリックします。

モデムのダイヤル情報画面が表示されます。

メモ : モデムのダイヤル情報 は、モデムが取り付けられているコンピュータにのみ表示されます。お使いのコンピュータにモデムがない場合は、手順 15 の日付と時刻の設定 へ進みます。

12 適切な国 / 地域を**国名 / 地域名**ボックスで選択します。

13 **市外局番 / エリアコード**ボックスに市外局番を入力し、必要に応じて**外線発信番号**ボックスに数字を入力します。

14 **ダイヤル方法**で次のいずれかをクリックして選択します。

– 使用する電話回線がトーンダイヤルの場合は トーン を選択します。

– 使用する電話回線がパルスダイヤルの場合は パルス を選択します。

15 **次へ**をクリックします。**日付と時刻の設定**画面が表示されます。

16 **日付**、**時刻**、および**タイムゾーン**の表示が合っていることを確認して、**次へ**をクリックします。ネットワーク設定 画面が数分後に表示されます。

17 **標準**をクリックして選択し、**次へ**をクリックします。

メモ：**省略**が表示された場合は、それをクリックして**ネットワーク設定**画面を省略します。Windows XP Professional の場合は、**このコンピュータはネットワーク上にないか ...** を選択して、**次へ**をクリックします。

18 コンピュータが再起動し、セットアッププログラムが続行されます。

Windows Vista の再インストール

再インストール処理を完了するには、1 ～ 2 時間かかることがあります。オペレーティングシステムを再インストールした後、デバイスドライバ（48 ページの「『Drivers and Utilities』メディアの使用」を参照）、アンチウイルスプログラム、およびその他のソフトウェアを再インストールする必要があります。

警告：『Operating System』メディアには、Windows Vista を再インストールするためのオプションが収録されています。オプションはファイルを上書きして、ハードディスクドライブにインストールされているプログラムに影響を与える可能性があります。このような理由から、デルのテクニカルサポート担当者の指示がない限り、Windows Vista を再インストールしないでください。

1 『Operating System』メディアをコンピュータの DVD ドライブに挿入します。

2 コンピュータを再起動します（またはコンピュータの電源を入れます）。

3 キーボードの LED が光ったらすぐに <F12> キーを押します。

Boot Menu（起動メニュー）が表示されます。

ウィンドウが開き、**Press any Key to Boot from a CD or DVD**（CD または DVD から起動する場合はいずれかのキーを押してください）というメッセージが表示されます。

4 キーボードのいずれかのキーを押します。

5 **Language**（言語）、**Time**（時刻）、**Currency**（通貨）、**Keyboard Method**（キーボード入力方式）をクリックし、**Next**（次へ）をクリックします。

6 **Windows Vista Installation**（Windows Vista インストール）ページで、**今すぐインストール**をクリックします。

7 ライセンス条項を確認し、**条項に同意します**をクリックして先へ進みます。

8 **インストールの種類**ウィンドウで、**カスタム（詳細）**を選択します。

9 **Windows のインストール場所を選択してください。**ウィンドウで、**ドライブオプション（詳細）**をクリックします。

10 **ディスク 0 パーティション 1** をクリックし、**削除**をクリックします。

11 **このパーティションを削除すると、保管されているすべてのデータは完全に削除されます。**ウィンドウで **OK** をクリックします。

12 **Windows のインストール場所を選択してください。**ウィンドウで、**新規**をクリックします。

13 パーティションサイズの指定が要求されたら、サイズを選択して、**適用**をクリックします。

14 パーティションをクリックして選択し、**フォーマット**をクリックします。

15 **このパーティションをフォーマットすると、保管されているすべてのデータは完全に削除されます。**ウィンドウで **OK** をクリックします。

Windows のインストール場所を選択してください。ウィンドウで、**次へ**をクリックします。

Windows のインストールウィンドウが表示されます。

メモ：インストール中、コンピュータは数回再起動されます。

16 **セットアップ**ウィンドウが表示されます。

17 ユーザーアカウントのユーザー名、パスワード、および画像を選択します。

18 **コンピュータ名を入力して、デスクトップの背景を選択してください。**ウィンドウで**次へ**をクリックします。

19 **Windows　を自動的に保護するよう設定してください**ウィンドウで**推奨設定を使用します**をクリックします。

時刻と日付の設定の確認ウィンドウが開きます。

20 適切なタイムゾーンをクリックして選択し、**次へ**をクリックします。

ありがとうございますウィンドウが表示されます。

21 **スタート**をクリックします。

『Drivers and Utilities』メディアの使用

オペレーティングシステムの再インストールが完了したら、取り付けられているハードウェア用の適切なドライバをロードする必要があります。ドライバは、『Drivers and Utilities』メディアに収録されています。

1 Windows デスクトップが表示されている状態で、『Drivers and Utilities』メディアをドライブにセットします。

2 『Drivers and Utilities』インストールプログラムが起動したら、ソフトウェアのインストールプログラムが要求されます。その場合は、画面の指示に従います。

3 **Dell システムをお買い上げくださり、ありがとうございます**画面で、**次へ**をクリックします。

メモ：『Drivers and Utilities』メディアでは、出荷時にお使いのコンピュータに取り付けられていたハードウェアのドライバのみが表示されます。追加のハードウェアを取り付けてある場合、新しいハードウェアのドライバは『Drivers and Utilities』メディアによって表示されないことがあります。これらドライバが表示されていない場合は、『Drivers and Utilities』メディアのプログラムを終了します。ドライバの情報については、デバイスに付属するマニュアルを参照してください。

4 コンピュータ上のハードウェアを『**Drivers and Utilities**』メディアが検出中であるというメッセージが表示されます。

5 お使いのコンピュータで使用されているドライバが、**My Drivers—The Drivers and Utilities media has identified these components in your system**（マイドライバ ― 『**Drivers and Utilities**』メディアはシステム上でこれらのコンポーネントを検出しました）ウィンドウに自動的に表示されます。

ドライバの推奨インストール順序

メモ：インストールする必要がある具体的なドライバは、インストールしたオペレーティングシステムとお使いのコンピュータのハードウェア構成によって異なります。取り付けたハードウェアやロードする必要がある具体的なドライバがわからない場合は、テクニカルサポートまでお問い合わせください。

ハードウェアが使用するドライバやユーティリティをインストールする際には、次の順序でインストールすることをお勧めします。

1 重要なドライバ
   a デスクトップシステムソフトウェア（ユーティリティ セクションにあります）
   b チップセットドライバ
2 コアコンポーネントのドライバ
   a ビデオカードのドライバ
   b NIC/ モデムのドライバ
   c オーディオカードのドライバ
3 周辺機器のドライバ（必要に応じてインストール）
   a マウス / キーボード
   b カメラ
   c TV チューナー
   d Bluetooth
4 ユーティリティ
   デルサポートセンター

6

BIOS の設定

BIOS

BIOS オプションを使用して、次のことができます。

- お使いのコンピュータでハードウェアの追加、変更、または取り外しを行った後のシステム設定情報の変更
- ユーザー選択可能なオプションの設定または変更
- 現在のメモリ容量の確認や、取り付けられたハードドライブの種類の設定

BIOS を変更する前に、現在のシステム設定の情報を控えておくことをお勧めします。

警告：コンピュータに詳しい方以外は、BIOS の設定を変更しないでください。設定を間違えるとコンピュータが正常に動作しなくなる可能性があります。

BIOS の起動

1 コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。

2 DELL™ のロゴが表示されたら、すぐに <F2> を押します。

メモ : キーボードのキーを長時間押したままにすると、キーボードエラーが発生する場合があります。キーボードエラーを回避するには、BIOS 画面が表示されるまで、<F2> を押して放す操作を等間隔で行ってください。

キーを押すタイミングが遅れて OS のロゴが表示されてしまったら、Microsoft® Windows® デスクトップが表示されるのを待ち、コンピュータをシャットダウンして操作をやりなおしてください。

BIOS 画面

BIOS 画面には、お使いのコンピュータの現在の設定または変更可能な設定の情報が表示されます。情報は、メニューフィールド、オプションリスト、アクティブなオプションのフィールド、ヘルプフィールド、およびキー操作の 5 つの領域に分かれています。

<table>
<tr><td colspan="3">Menu（メニュー）— BIOS 画面の最上部に表示されます。このフィールドには、BIOS オプションにアクセスするためのメニューが用意されています。左右矢印キーを押して移動します。Menu オプションをハイライト表示すると、お使いのコンピュータに取り付けられたハードウェアを定義するオプションが Options List に表示されます。</td></tr>
<tr><td>Options List（オプションリスト）— BIOS 画面の左側に表示されます。このフィールドには、取り付けられたハードウェア、省電力機能、およびセキュリティ機能を含む、コンピュータの構成を定義するオプションが表示されます。

上下矢印キーを使用して、リストを上下にスクロールします。オプションをハイライト表示すると、そのオプションの現在の設定および利用可能な設定が Options Field に表示されます。</td><td>Options Field（オプションフィールド）— Options List の右側に表示されます。Options List に表示された各オプションの情報を示します。このフィールドでは、お使いのコンピュータに関する情報を表示したり、現在の設定を変更したりできます。

現在の設定を変更するには、<Enter> を押します。Options List に戻るには、<ESC> を押します。

メモ：Options Field に表示されている設定には、変更できないものもあります。</td><td>Help（ヘルプ）— BIOS 画面の右側に表示されます。Options List で選択したオプションの情報を示します。</td></tr>
<tr><td colspan="3">Key Functions（キー操作）— Options Field の下に表示されます。アクティブな BIIOS フィールドのキーとその機能を一覧表示します。</td></tr>
</table>

BIOS オプション

メモ：お使いのコンピュータおよび取り付けられているデバイスによっては、本項に一覧表示された項目と異なる場合があります。

メモ：Dell XPS™ 730 では、次の BIOS オプションが表示されます。Dell XPS 730X コンピュータではオプションが異なる場合があります。詳細については、デルサポートウェブサイト **support.jp.dell.com** の『サービスマニュアル』を参照してください。

Main	
Date	システム日付を表示します。
Time	システム時刻を表示します。
System Info	システムモデル名を表示します。
BIOS Info	BIOS のリビジョンを表示します。
Service Tag	システムのサービスタグを表示します。
Express Service Code	エクスプレスサービスコードを表示します。
Asset Tag	管理タグを表示します。
Memory Installed	合計メモリサイズを表示します。
Memory Available	システム内の利用可能なメモリを表示します。
Memory Speed	メモリの速度を表示します。
Memory Channel Mode	メモリチャネルモードを表示します。 • Single（シングル） • Dual（デュアル）
Memory Technology	システムで使用するメモリのタイプを表示します。
Processor Type	プロセッサタイプを表示します。
Processor Speed	プロセッサの速度を表示します。
Processor L2 cache	プロセッサの L2 キャッシュサイズを表示します。

Advanced	
CPU Configuration	システムのパフォーマンスを拡張するCPU機能を有効または無効にできます。 • CPU Multiplier（CPU のマルチプライヤ）— FSB のクロック速度に CPU のマルチプライヤを乗じた値によって、プロセッサのコア速度が決まります。 **CPU のコアクロック = FSB の周波数 /4 x CPU のマルチプライヤ** • C1E Enhanced Halt State — 有効にすると、CPU がアイドル状態のときの消費電力を削減できます。この機能は、オペレーティングシステムによって停止命令が処理されたときに実行されます（Enabled（有効）/Disabled（無効））。 • Execute Disable Bit（XD ビット）— 無効にすると、XD 機能のフラグが常に 0 を返すようになります （Enabled（有効）/Disabled（無効））。 • Virtualization（仮想化）— 有効にすると、仮想マシンモニター（VMM）が、Vanderpool テクノロジから提供される付加的なハードウェア機能を利用できるようになります （Enabled（有効）/Disabled（無効））。 • SpeedStep — 有効にすると、CPU クロック速度と CPU コア電圧が CPU の負荷に基づいて調整されます（Enabled（有効）/Disabled（無効））。 • CPU Core 0 ～ CPU Core 3 — CPU コア 0、1、2、3 を有効にします（Enabled（有効）/Disabled（無効））。

Advanced （続き）	
Integrated Peripherals	システムに搭載されたデバイスおよびポートを有効または無効にできます。 • Halt On（エラー時に停止）— POST 実行中に発生したエラーのうち、システムを停止させるエラーの種類を設定します（All errors（すべてのエラー）、No errors（エラー無視）、All errors but keyboard errors（キーボードエラー以外のすべてのエラー））。 • Boot Up NumLock Status（起動時の NumLock 制御）— 電源投入時の NumLock の状態を設定します （On（オン）/Off（オフ））。 • Fast Boot（高速起動） — 高速起動を有効にします。有効にすると、POST 実行中に BIOS が特定のテストをスキップでき、システムの起動にかかる時間が短縮されます （Enabled（有効）/Disabled（無効））。 • Drive A（ドライブ A）— フロッピードライブの容量と物理的なサイズを指定します。 • USB Controller（USB コントローラ）— USB コントローラを有効にします （Enabled（有効）/Disabled（無効））。 • USB Keyboard Support（USB キーボードのサポート）— USB キーボードのサポートを有効にします （Enabled（有効）/Disabled（無効））。 • USB Mouse Support（USB マウスのサポート）— USB マウスのサポートを有効にします （Enabled（有効）/Disabled（無効））。 • HD Audio（HD オーディオ）— HD オーディオの設定を有効にします（Enabled（有効）/Disabled（無効））。 • Onboard LAN Controller（オンボード LAN コントローラ）— オンボード LAN コントローラの設定を有効にします（Enabled（有効）/Disabled（無効））。 • Onboard LAN1 Controller（オンボード LAN1 コントローラ）— オンボード LAN1 コントローラの設定を有効にします （Enabled（有効）/Disabled（無効））。 • Onboard LAN Boot ROM（オンボード LAN ブート ROM）— LAN ブート ROM の機能を有効にします （Enabled（有効）/Disabled（無効））。 • IEEE1394 Controller（IEEE1394 コントローラ）— IEEE1394 コントローラの設定を有効にします （Enabled（有効）/Disabled（無効））。

Advanced （続き）	
IDE/SATA Configuration	ハードディスクドライブやオプティカルドライブなど、コンピュータに接続している IDE または SATA デバイスに関連する値に対する、ユーザーによる定義または変更を有効または無効にします。 • HDD S.M.A.R.T Capability（HDD S.M.A.R.T 機能）— ハードドライブの S.M.A.R.T. 設定を有効にします （Enabled（有効）/Disabled（無効））。 • Serial-ATA Controller（Serial-ATA コントローラ）— Serial-ATA コントローラの設定を有効にします （All enabled（すべて有効）、Disabled（無効）、SATA-0、SATA-1） • RAID Config（RAID の設定）— RAID の設定を有効にします （Enabled（有効）/Disabled（無効））。 • PATA Channel 0 Master（PATA チャネル 0 マスター）— このチャネルでのドライブサイズとヘッドの自動検出を有効にします。 • PATA Channel 0 Slave（PATA チャネル 0 スレーブ）— このチャネルでのドライブサイズとヘッドの自動検出を有効にします。 • SATA 1 ～ 6 — このチャネルでのドライブサイズとヘッドの自動検出を有効にします。

Advanced （続き）	
Overclock Configuration	このオプションを有効にすると、システムクロックモードを設定できます。次のパラメータと、パラメータの現在値が表示されます。 • CPU Frequency, MHz（CPU の周波数（MHz））— 現在の設定が表示されます。 • CPU Multiplier（CPU のマルチプライヤ）— 現在の設定が表示されます。 • FSB-Memory Clock Mode（FSB メモリのクロックモード）— システムのクロックモードを次のように設定できます。 – Auto（自動）— FSB とメモリ速度を自動的に設定します。 – Linked（リンクする）— FSB と速度を手動で入力できます。メモリ速度は、その値に応じて変化します。 – Unlinked（リンクしない）— FSB とメモリ速度を手動で入力できます。 • FSB-Memory Ratio（FSB メモリ比率）— FSB メモリ比率を Auto（自動）、1:1、5:4、3:2、または Sync Mode（同期モード）に設定できます。 • FSB（QDR）, MHz — CPU FSB 周波数を調整できます。Actual（実際値）列に表示される FSB（QDR）は、起動時に有効になる実際の周波数を反映しています。400 ～ 2600 の間の値を入力してください。 • MEM（DDR）, MHz — メモリの周波数を調整できます。Actual（実際値）列に表示される MEM（DDR）は、起動時に有効になる実際の周波数を反映しています。 • PCIe x16_1, MHz — PCIe x16 スロット 1 の周波数を選択できます。 • PCIe x16_2, MHz — PCIe x16 スロット 2 の周波数を選択できます。 • PCIe x16_3, MHz — PCIe x16 スロット 3 の周波数を選択できます。 • Dynamic ODT（動的 ODT）— 動的 ODT（on-die termination）を有効にします。 • Memory Timing Setting（メモリのタイミング設定）— お使いのメモリのタイミング設定を編集できます （詳細設定）
Overvoltage configuration	このオプションを有効にすると、CPU コアの電圧、FSB、メモリ電圧、およびチップセット電圧を設定できるようになります。 • CPU Core（CPU コア）— CPU コアの電圧レベルを設定できます（CPU VID）。 • CPU FSB — CPU FSB の電圧レベルを徹底できます（CPU VTT）。 • Memory（メモリ）— DRAM の電圧レベルを設定できます。 • Chipset Voltage（チップセットの電圧）— nForce SPP のコア電圧レベルを設定できます。 • nForce MCP — nForce MCP のコア電圧レベルを設定できます。 • nForce MCP Aux（nForce MCP 補助）— nForce MCP の補助電圧レベルを設定できます。 • GTLVREF Lane 1（GTLVREF レーン 1）— CPU GTLVREF レーン 1 の電圧レベルに電圧を追加できます。

Security	
Supervisor Password Is	スーパーバイザーパスワードが割り当てられているかどうかを指定します。
User Password Is	ユーザーパスワードが割り当てられているかどうかを指定します。
Set Supervisor Password	スーパーバイザーパスワードの設定を可能にします。
Set User Password	ユーザーパスワードの設定を可能にします。POST 実行中は、ユーザーパスワードを使用して BIOS に入ることはできません。

Power	
ACPI Suspend Type	ACPI(Advanced Configuration and Power Interface)のサスペンドタイプを指定します。ACPI は、コンピュータに接続された各デバイスに提供する電力量をオペレーティングシステムが制御できるようにする電源管理規格です。デフォルトは S3 です。
AC Recovery	停電から回復した後のシステムの動作を指定します。 • On(オン)— 電源障害から回復した後にコンピュータをオンにします。 • Off(オフ)— コンピュータの電源をオフのままにします。 • Last(直前の状態)— コンピュータを電源障害の発生前と同じ電源状態に戻します。
Remote Wake Up	ユーザーが LAN を介してコンピュータにアクセスしようとしたときに、コンピュータに起動するように通知します。
Wake-Up By Ring	モデムで着信が検出されたときに、コンピュータに起動するように通知します。
Auto Power On	コンピュータの電源を自動的にオンにするアラームの設定が可能になります。

Boot	
Hard Disk Boot Priority	ハードディスクドライブの起動優先度を設定します。表示される項目は、検出されるハードディスクドライブにしたがって動的に表示されます。
First Boot Device ～ Third Boot Device	起動デバイスの順序を設定します。コンピュータに接続された起動可能なデバイスだけが、オプションとして一覧表示されます。
Boot Other Device	このオプションを有効にすると、メモリキーなどの他のデバイスから起動できるようになります。

Exit	
Exit Options	**Exit Saving Changes**(変更を保存して終了)、**Exit Discarding Changes**(変更を破棄して終了)、**Load Setup Default**(BIOS デフォルトの読み込み)、および **Discard Changes**(変更を破棄)のオプションがあります。

起動順序

この機能を使用すると、コンピュータに取り付けられている起動可能なデバイスの起動順序を変更することができます。

オプション設定

- **Diskette Drive** — コンピュータはフロッピードライブからの起動を試みます。ドライブ内のフロッピーディスクが起動用でない場合、フロッピーディスクがドライブにない場合、またはコンピュータにフロッピードライブが取り付けられていない場合、コンピュータは起動順序内で次に起動可能なデバイスからの起動を試みます。
- **Hard Drive** — コンピュータはプライマリハードディスクドライブからの起動を試みます。そのドライブ上にオペレーティングシステムが存在しない場合は、コンピュータは起動順序内で次に起動可能なデバイスからの起動を試みます。
- **CD Drive** — コンピュータは CD ドライブからの起動を試みます。そのドライブに CD が挿入されていない場合、または CD にオペレーティングシステムが含まれていない場合、コンピュータは起動順序内で次に起動可能なデバイスからの起動を試みます。
- **USB Flash Device —** USB ポートにメモリデバイスを挿入し、コンピュータを再起動します。画面の右上隅に `F12 = Boot Menu` と表示されたら、<F12> を押します。BIOS がデバイスを認識し、USB flash オプションを起動メニューに追加します。

メモ：USB デバイスから起動するには、そのデバイスが起動可能でなければなりません。お使いのデバイスが起動可能デバイスであることを確認するには、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。

メモ：コンピュータが起動順序内のすべてのデバイスからの起動を試み、オペレーティングシステムが見つからなかった場合にのみ、エラーメッセージが生成されます。

一回のみの起動順序の変更

この機能を使って、たとえば、『Drivers and Utilities』メディアにある Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行するように CD ドライブからコンピュータを起動し、Dell Diagnostics（診断）プログラムが完了したらハードドライブから起動するように設定できます。また、フロッピードライブ、メモリキー、CD-RW ドライブなどの USB デバイスからコンピュータを再起動するときにもこの機能を使用できます。

メモ：USB フロッピードライブから起動する場合、まず BIOS でフロッピードライブを **OFF**（オフ）に設定する必要があります。

1. USB デバイスから起動するときは、USB デバイスを USB コネクタに接続します（12 ページの「背面図」を参照）。
2. コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。

3 DELL ロゴが表示されたら、すぐに **<F12>** を押します。

メモ： キーボードのキーを長時間押したままにすると、キーボードエラーが発生する場合があります。キーボードエラーを回避するには、**起動デバイスメニュー**が表示されるまで、<F12> を押して放す操作を等間隔で行ってください。

キーを押すタイミングが遅れてオペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Microsoft Windows デスクトップが表示されるまでそのまま待機し、コンピュータをシャットダウンして操作をやりなおしてください。

4 **Boot Device Menu** で、上下の矢印キーを使用するか、キーボードの適切な数字キーを押して、今回の起動のみに使用するデバイスをハイライト表示し、**<Enter>** を押します。

たとえば、USB メモリキーから起動する場合は、USB Flash Device をハイライト表示して <Enter> を押します。

メモ：USB デバイスから起動するには、そのデバイスが起動可能でなければなりません。デバイスのマニュアルを参照して、デバイスが起動可能かどうかを確認してください。

次回からの起動順序の変更

1 BIOS を起動します（51 ページの「BIOS の起動」を参照）。

2 矢印キーを使って **Boot** メニューオプションをハイライト表示し、**<Enter>** を押してポップアップメニューにアクセスします。

メモ： 後で元に戻すこともできるよう、現在の起動順序を書き留めておきます。

3 デバイスのリスト内を移動するには、上下矢印キーを押します。

4 デバイスを有効または無効にするには、スペースバーを押します（有効にしたデバイスにはチェックマークが付いています）。

5 選択したデバイスをリストの上または下に移動するには、プラス（+）またはマイナス（−）を押します。

付録

仕様

 メモ：提供される内容は地域により異なる場合があります。コンピュータの構成に関する詳細については、**スタート** → **ヘルプとサポート**をクリックし、コンピュータに関する情報を表示するためのオプションを選択してください。

プロセッサ	Dell™ XPS™ 730	Dell XPS 730X
プロセッサタイプ	Intel® Core™ 2 Duo （高性能デュアルコア）	Intel Core i7
	Intel Core2 Quad （クアッドコアプロセッサ）	Intel Core i7 Extreme Edition
	Intel Core 2 Extreme （超高性能クアッドコア）	
キャッシュ	4 MB 以上	8 MB 以上

メモリ	Dell XPS 730	Dell XPS 730X
タイプ	800 MHz 以上の DDR3 アンバッファ SDRAM、SLI メモリ	1,066 MHz 以上の DDR3 アンバッファ SDRAM、SLI メモリ
メモリのコネクタ	4 つ	3 つ
メモリ容量	512 MB、1 GB、および 2 GB	DDR3：1 GB、2 GB、4 GB XMP：1 GB、2 GB
最小メモリ	1 GB	3 GB
最大搭載メモリ	8 GB	12 GB
	メモ：利用可能なメモリの容量は、インストールされているオペレーティングシステムによって異なります。	

コンピュータ情報	Dell XPS 730	Dell XPS 730X
チップセット	nForce 790i SLI	Intel X58
ノースブリッジ	nForce 790i SLI SPP	Intel 36s IOH
サウスブリッジ	nForce 790i SLI MCP	Intel ICH10
BIOS チップ（NVRAM）	8 Mb	8 Mb

コンピュータ情報 （続き）	Dell XPS 730	Dell XPS 730X
NIC	10/100/1000 Mbps 通信が可能な内蔵ネットワークインタフェース x 2	10/100/1000 Mbps 通信が可能な内蔵ネットワークインタフェース x 2

ビデオ	Dell XPS 730	Dell XPS 730X
タイプ	第 2 世代デュアル PCIe x16 第 1 世代シングル PCIe x16	第 2 世代デュアル PCIe x16 第 2 世代シングル PCIe x16

オーディオ		
タイプ	HDA 7.1 チャネル、Realtek 888 コーデック	HDA 7.1 チャネル、Realtek 888 コーデック

拡張バス	Dell XPS 730	Dell XPS 730X
バスのタイプ	PCI Express x1 および x16 PCI 32 ビット	PCI Express x1 および x16 PCI 32 ビット
PCI		
コネクタ	2	1
コネクタサイズ	124 ピン	124 ピン
コネクタデータ幅（最大）	32 ビット	32 ビット
バス速度	33 MHz	33 MHz
PCI Express x1		
コネクタ	x1 が 1 つ	x1 が 2 つ
コネクタサイズ	36 ピン	36 ピン
コネクタデータ幅（最大）	PCI Express レーン x 1	PCI Express レーン x 1
バスのスループット	x1 スロットの双方向速度 — 2.5 Gbps	x1 スロットの双方向速度 — 2.5 Gbps

拡張バス （続き）	Dell XPS 730	Dell XPS 730X
第 2 世代 PCI Express x16		
コネクタ	x16 が 2 つ	x16 が 3 つ
コネクタサイズ	164 ピン	164 ピン
コネクタデータ幅（最大）	PCI Express レーン x 16	PCI Express レーン x 16
バスのスループット	x16 スロットの双方向速度 — 80 Gbps	x16 スロットの双方向速度 — 80 Gbps
第 1 世代 PCI Express x16		
コネクタ	x16 が 1 つ	適用なし
コネクタサイズ	164 ピン	
コネクタデータ幅（最大）	PCI Express レーン x 16	
バスのスループット	x16 スロットの双方向速度 — 40 Gbps	

ドライブ	Dell XPS 730	Dell XPS 730X
利用可能なデバイス		
シリアル ATA ハードドライブ	✓	✓
フロッピードライブ	✓	✘
SATA Blu-ray Disc（BD）ライター	✓	✓
SATA BD/DVD コンボドライブ	✓	✓
SATA DVD+/-RW ドライブ	✓	✓
CD-RW/DVD コンボドライブ	✓	✘
メディアカードリーダー	✓	✓
外部アクセス用	3.5 インチドライブベイ x 2 5.25 インチドライブベイ x 4	3.5 インチドライブベイ x 2 5.25 インチドライブベイ x 4
内部アクセス用	ハードドライブ用 3.5 インチドライブベイ x 4	ハードドライブ用 3.5 インチドライブベイ x 4

✓ = 対応、✘ = 非対応

コネクタ	Dell XPS 730	Dell XPS 730X
外付けコネクタ		
IEEE 1394a	前面および背面パネルの 6 ピンシリアルコネクタ	前面および背面パネルの 6 ピンシリアルコネクタ
ネットワークアダプタ	RJ45 コネクタ x 2	RJ45 コネクタ x 2
PS/2（キーボード / マウス）	6 ピンミニ DIN x 2	6 ピンミニ DIN x 2
USB	USB 2.0 準拠コネクタ（前面パネル x 2、背面パネル x 6、内部 x 4）	USB 2.0 準拠コネクタ（前面パネル x 2、背面パネル x 6、内部 x 4）
オーディオ	HDA 7.1 チャネルサウンド（背面）、S/PDIF 出力（背面）、ヘッドフォンジャックとマイクジャック（前面）、S/PDIF（内部）	HDA 7.1 チャネルサウンド（背面）、S/PDIF 出力（背面）、ヘッドフォンジャックとマイクジャック（前面）、S/PDIF（内部）
ドライブ	eSATA ポート x 1	eSATA ポート x 1

コネクタ （続き）	Dell XPS 730	Dell XPS 730X
システム基板コネクタ		
IDE ドライブ	40 ピンコネクタ x 1	適用なし
シリアル ATA	7 ピンコネクタ x 6	7 ピンコネクタ x 8
フロッピードライブ	34 ピンコネクタ x 1	適用なし
ファン	4 ピンコネクタ x 1、3 ピンヘッダー x 5	4 ピンコネクタ x 1、3 ピンヘッダー x 5
PCI	124 ピンコネクタ x 2	124 ピンコネクタ x 1
PCI Express x1	36 ピンコネクタ x 2	36 ピンコネクタ x 2
PCI Express x16	164 ピンコネクタ x 3	164 ピンコネクタ x 3
eSATA	内部 eSATA x 1	内部 eSATA x 1

コントロールと LED	
電源ボタン	押しボタン
電源 LED	白色のライト — 白色の点滅はスリープ状態、白色の点灯は電源がオンの状態。
ハードドライブアクセス LED	白色
通信状態 LED （内蔵ネットワークアダプタ上）	• 緑色 — 10 Mbps ネットワークとコンピュータ間の接続が良好です。 • 橙色 — 100 Mbps ネットワークとコンピュータ間の接続が良好です。 • 黄色 — 1000 Mbps（1 Gbps）ネットワークとコンピュータ間の接続が良好です。 • オフ（消灯）— コンピュータがネットワークへの物理的な接続を検出していません。
動作 LED （内蔵ネットワークアダプタ上）	• 黄色のライトの点滅 — ネットワーク上でアクティビティが実行されていることを示します。 • オフ（消灯）— ネットワーク上にアクティビティがないことを示します。
スタンバイ電源 LED	システム基板上の青色の AUXPWR

コントロールと LED （続き）	
前面パネル LED	10 個の多色ライトがコンピュータの正面で点灯
背面パネル LED	4 つの多色ライトがコンピュータ背面で点灯

電源	
DC 電源装置	⚠ **危険：** 発火、感電、けがを防止するため、電源コンセント、電源タップ、アウトレットに過重電流を流さないでください。電源コンセント、電源タップ、その他のソケットに接続した全製品のアンペアの総定格が、分岐回路定格の 80 パーセントを超えないようにしてください。
ワット数	1 KW
電圧（お使いのコンピュータに付属しているガイドの安全にお使いいただくための注意事項を参照してください）	自動検出電源 — 50/60 Hz で 90 V ～ 265 V
UPS（オプション）	出力定格 1.5 KW 以上が必要
バックアップバッテリー	3 V CR2032 コイン型リチウムバッテリー

サイズと重量	
縦幅	
スタンドなし	55.5 cm
スタンド取り付け時	57.2 cm
横幅	
スタンドなし	21.9 cm
スタンド取り付け時	35.6 cm
奥行き	59.4 cm
重量	
標準構成	21.7 kg
最大構成	25.6 kg

環境	
温度	
動作時	10 ～ 35 ℃
保管時	-40 ～ 65 ℃
相対湿度	20 ～ 80 パーセント（結露しないこと）
最大耐久震度	
動作時	0.25 G（3 ～ 200 Hz、0.5 オクターブ / 分）
保管時	0.5 G（3 ～ 200 Hz、1 オクターブ / 分）
最大耐久衝撃	
動作時	50.8 cm/ 秒の速度変化でボトムハーフサインパルス
保管時	508 cm/ 秒の速度変化で 27 G フェアードスクエアウェーブ
高度	
動作時	–15.2 ～ 3048 m
保管時	–15.2 ～ 10,668 m
空気中浮遊汚染物質	G2、または ISA-S71.04-1985 が定める規定値以内

Macrovision Product Notice

この製品には、Macrovision Corporation および他の権利所有者が所有する一定の米国 特許権および知的所有権によって保護されている著作権保護技術が組み込まれています。本著作権保護テクノロジの使用は、Macrovision Corporation による認可を受ける必要があり、同社による許可がない限り、家庭およびその他の限られた観賞目的に制限されています。リバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

デルへのお問い合わせ

インターネットまたは電話でお問い合わせください。

- ウェブでサポート情報を参照するには、**support.jp.dell.com** にアクセスしてください。
- ウェブによるワールドワイドサポートについては、ページの下にある **Choose A Country/Region**（お住まいの国 / 地域の選択）を使用するか、次の表に記載されているウェブアドレスにアクセスしてください。

メモ：一部の国では、別に表示されている電話番号で Dell™ XPS™ ノートブックコンピュータ専用のサポートをご利用いただけます。XPS ノートブックコンピュータ専用の電話番号が表示されていない場合は、表示されているテクニカルサポートの番号でデルに電話をかけると、担当者に転送されます。

- 電話によるサポートについては、次の表に記載されている電話番号にご連絡ください。国際電話のかけ方については、国内または国際電話会社にお問い合わせください。
- お問い合わせ番号は、この文書が作成された時点において正確なものですが、変更になる場合があります。

サポートタイプ	市外局番 市内番号、または フリーダイヤル ウェブアドレスおよび電子メールアドレス
電話	1-800-232-8544
ウェブサポート	support.dell.com/support/ supportrequests/create.aspx
オンラインチャット	support.dell.com/support/ topics/global.aspx/support/ gen/chat
コミュニティフォーラム	dellcommunity.com/ supportforums
ゲーム / XPS フォーラム	dellcommunity.com/ supportforums/ ?category.id=Gaming

索引

そ

ち

て

と

ね

は

ひ

ふ

へ

ま

め

も

れ